

生涯大学院とのワークショップ

「今後の成田市のまちづくりについて考える」

実施報告書

(1)開催概要について

- 総合計画「NARITAみらいプラン」第2期基本計画の策定過程に市民参画を図り、成田市生涯大学院の生徒を対象に、広い視野と見識を持った地域の方々の多様な意見を集約するため、下表のとおりワークショップを開催しました。
- リラックスした雰囲気の中でオープンに会話し、自由にネットワークを築くことができる空間で生み出された知識やアイデアを、計画の策定に活用していきます。

| | |
|------|---|
| タイトル | 成田市×生涯大学院 「今後の成田市のまちづくりについて考える」 |
| 目的 | 将来のまちづくりについて話しあうことで、市民の市政への関心を高め、まちづくりに関する市民意識の醸成を図るとともに、市民の意見を集約し、次期基本計画に反映させる |
| 開催日時 | 平成31年3月27日（水）9：30-11：30 |
| 場所 | 生涯大学院 |
| 対象 | 成田市生涯大学院 生徒 |
| 参加者数 | 21名 |



(2)実施方法について

- 参加者5～6人で一つのグループを形成し、ラウンドごとに異なるテーマについて話し合いを行いました。
- 各ラウンドの間には席替えタイムとして、1人（ホスト役）を残して他の全員（旅人）は自由に他のテーブルに移動します。
- ラウンドは全3回とし、第3ラウンドのテーマである「皆さんが望む、これからの成田はどんなまちですか」の中で出た意見の中で、特に印象的だったものを付箋に書き出し、各グループ内で情報共有を図るとともに、全体共有として発表を行いました。



第1ラウンド

「成田に住んでいて、感じることや思うことは何ですか」のテーマについて話し合う。

第2ラウンド

第1ラウンドの意見等を踏まえ、「他にはない、成田らしさにどのような可能性を感じますか」のテーマについて話し合う。

第3ラウンド

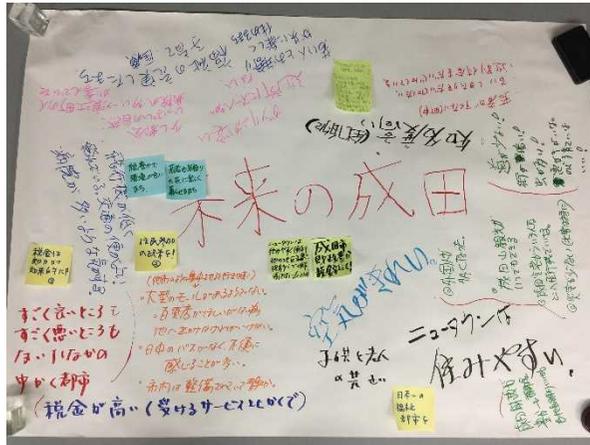
第2ラウンドの意見等を踏まえ、「皆さんが望む、これからの成田はどんなまちですか」のテーマについて話し合う。

振り返り

第3ラウンドの内容を振り返り、特に印象的だったものを付箋に記入し、グループ内で情報共有を図るとともに、全体共有として発表を行う。

(3)グループ意見

【グループ:A】



○グループ意見

- ・成田は観光資源が多く、空港や交通網が発達しており、非常に高いポテンシャルを感じる
- ・財源が豊かに感じるが、他市町村と比較して飛びぬけた特徴がないようにも感じる
- ・若者や高齢者が楽しく住める環境の整備を進めていく必要がある
- ・税金が多いので、効率的かつ効果的に使っていただきたい
- ・今回のワークショップのように、住民参加の機会をどんどん増やしてほしい
- ・成田といえば、「成田山」「成田空港」「福祉のまち」となるよう、福祉の充実したまちづくりを希望する

【グループ:B】

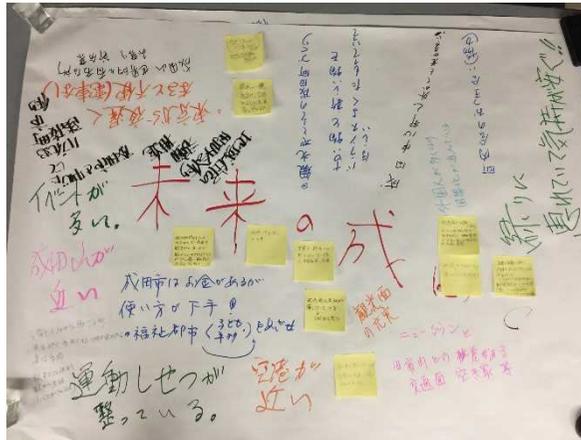


○グループ意見

- ・市の発展には、成田空港の更なる発展が不可欠。市民もいろいろな形で協力していければと思う
- ・知人が有料老人ホームに入っているが、年金だけでは不足、持ち出し金もある状態。高齢社会になる中で、このような苦勞をしなくてはならないのか、と思っている人も多いことを知って欲しい
- ・介護の仕組みがわかりにくい。どこに何を申請すれば良いのかなど、周知をもっとしっかり行ってほしい
- ・若者に魅力あるまちづくりを行わなければならない。お祭りなども若者が不足しているため、隣町から派遣してもらうなど協力をいただいている事情もある。
- ・健康診断を受ける機会を増やしてほしい
- ・他自治体では、70歳以上の方に無料でバスに乗車できるパスを発行しているところもある。高齢者は車を手放したら移動手段がなくなるので、生活に支障が生じる

(3)グループ意見

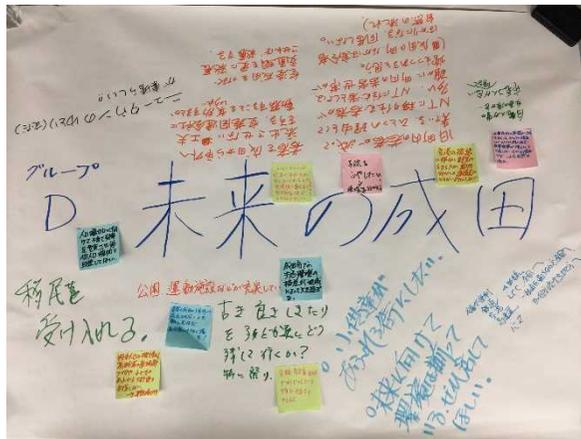
【グループ:C】



○グループ意見

- ・地域コミュニティのつながりが希薄になってきているように感じるため、対策が必要
- ・市の中心部は交通網が発達しているが、少し先に出ると移動手段に困ることが多々ある

【グループ:D】



○グループ意見

- ・成田の中心地と外部では、生活環境があまりにも違いすぎる
- ・成田空港、新生市場、大学病院の3つの施策を通じて、人口の受け入れを促してほしい
- ・労働人口が増えるということは、若年層が増えることでもあるため、それを受け入れる体制づくりが必要となる
- ・成田は都心からのアクセスが良く、子育てもしやすい環境。今後も子育て支援を充実させて欲しい